▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲□
「しまかぜー食育アイランド通信ー」
7/3/10 210号

農林水産省九州農政局 消費・安全部 消費生活課

- 【1】 九州農政局からのお知らせ
- ○第1回(令和6年度)みどり戦略学生チャレンジの受賞チームが決定!
- ○有機栽培茶生産・輸出拡大勉強会キックオフシンポジウムの開催について
- ○「KAB 駅前フェスタ 2025」にニッポンフードシフトブースを出展します
- 〇米に関するマンスリーレポートについて
- ○野菜の生育状況及び価格見通し(令和7年3月)について
- ○東海食育さんぽ (YouTube) について
- ○2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に出展します!
- ○九州農政局「消費者の部屋」特別展示について
- 【2】九州農政局公式 Instagram について
- ○チャレンジチームが魅力ある情報を発信中
- 【3】九州農政局消費・安全部消費生活課 Facebook について
- ○消費生活課が「消費者情報九州」を発信中
- 【4】編集部からのお知らせ
- 〇「九州の食育のひろば」に関する情報提供及び情報更新ご協力のお願い

【1】 九州農政局からのお知らせ

○ 第1回(令和6年度)みどり戦略学生チャレンジの受賞チームが決定!

農林水産省が実施する「第1回みどり戦略学生チャレンジ」は、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、将来を担う若い世代の環境に配慮した取組を促すため、大学生や高校生等の個人・グループがみどりの食料システム戦略に基づいた活動を実践する機会として実施するものです。

九州ブロックでは39の個人・グループから取組の提出があり、九州農政局での審査を経て、 全国大会には九州ブロックから3チームが出場しました。

※全国大会及び九州ブロックの各賞の受賞結果は、以下の URL からをご覧ください。 〇みどり戦略学生チャレンジ(全国大会)

https://www.maff.go.jp/kyusyu/seisan/gizyutu/midori/gakuchalle.html

O 有機栽培茶生産・輸出拡大勉強会キックオフシンポジウムの開催について

九州農政局は、九州の茶産地の更なる発展に向けて、茶生産者、茶商等お茶関係者の参加による「有機栽培茶の生産・輸出拡大のための勉強会」を開始することとして、そのためのキックオフシンポジウムを開催いたします。

近年、欧米での需要の高まりを背景に、有機栽培の抹茶が輸出向けとして高値で取引され、 供給の拡大が期待されています。九州の茶生産地においても、有機栽培茶の生産・輸出が大き なビジネスチャンスとなっています。

しかしながら、茶生産者にとって有機栽培への転換や輸出販売は、技術的、経営的なハード

ルやリスクが高いことから、様々な課題を克服していくことが必要です。

このような背景を踏まえ、有機栽培茶の生産・輸出の取組に躊躇している生産者や先行して 取り組んでいる生産者をはじめ様々な茶の関係者の参加による、有機栽培茶の生産・輸出に関 する最新の技術、先行的な取組、マーケットの状況等を学ぶ勉強会を開始することとしていま す。

※詳しくは、以下の URL から九州農政局ホームページをご覧ください。 https://www.maff.go.jp/kyusyu/press/keiei/zigyo/250225_1.html

O 「KAB 駅前フェスタ 2025」にニッポンフードシフトブースを出展します

九州農政局は3月15日(土曜日)・16日(日曜日)に開催される「KAB駅前フェスタ2025」に、KAB熊本朝日放送・JAグループ熊本と連携してニッポンフードシフトブースを出展します。

「ニッポンフードシフト」は、食と農業との距離を近づけるため、食と環境を支える農業・ 農村への国民の理解を醸成することを目指し、農林水産業の諸課題について、消費者と生 産者が一体となって自分たちの課題として捉え、行動変容に繋げていくことを目的とした 取組です。

これからの日本、そして自分たちの食を確かなものとするため、是非皆さんも食について楽しみながら考えてみませんか?

【開催概要】

1.日時: 令和7年3月15日(土曜日)~16日(日曜日)10時00分~17時00分

2.場所: JR 熊本駅前アミュ広場など

3.プログラム:「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」パネル展示や野菜摂取量の測定など、子どもから大人まで楽しめる企画を実施!

4.入場料:無料

当日は日頃の野菜摂取状況が把握できる測定器を設置し、無料であなたの野菜摂取量が測定できます。

また、ニッポンフードシフトに関するクイズに答えて、「熊本県産野菜」などが当たるガラポン抽選会もあります。

お近くに来られた際には、是非お立ち寄りください! (お問合せ先) 九州農政局企画調整室

※詳しくは、以下の URL からご覧ください。(外部リンク) https://www.kab.co.jp/special/ekimaefesta/

○ 令和7年2月号の米に関するマンスリーレポートについて

「米に関するマンスリーレポート」は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

令和7年2月号の特集には、「政府備蓄米の買い戻し条件付き売渡しについて」掲載されています。

※詳しくは、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。 https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html

○ 野菜の生育状況及び価格見通し(令和7年3月)について

農林水産省は、東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格(卸売価格)の 見通し(令和7年3月)について、主産地等からの聞き取りを行いましたので、その結果を 公表します。

令和7年3月は、キャベツ、はくさい等引き続き高値傾向で推移する見込みの品目がある 一方で、果菜類(きゅうり、なす、ピーマン)等を中心に平年並みの価格で推移する品目が 増える見込みです。

※詳しくは、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。 https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/engei/250228.html

O 東海食育さんぽ (YouTube) について

東海農政局の職員が、食育活動を実践されている企業・団体・個人の方々から、実践者ならではの食育推進につながる情報を対談等にて伺い、YouTube 動画でお知らせするものです。 毎回、食育に関するテーマを決め、家庭での会話風に、わかりやすくお伝えしています。 それぞれの食育活動にお役たてください。

※詳しくは、以下の URL からご覧ください。 https://www.maff.go.jp/tokai/keiei/shokuhin/shokuiku/SANPO.html

O 2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に出展します!

農林水産省は、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)にて「農林水産業と食文化の発展は世界をもっと豊かにつなぐ」をコンセプトに、6月7日(土曜日)から6月15日(日曜日)まで展示を行います。

イベントタイトル: RELAY THE FOOD~未来につなぐ食と風土~イベントロゴ:



コンセプト:農林水産業と食文化の発展は世界をもっと豊かにつなぐ

展示期間:2025年6月7日(土曜日)から6月15日(日曜日)までの9日間

展示場所: EXPO メッセ「WASSE」イベントホール 南側

※詳しくは、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。 https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/250124.html

2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のパンフレットが作成されていますので、お知らせいたします。

https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240809-02/

〇 九州農政局「消費者の部屋」特別展示について

九州農政局「消費者の部屋」では、食料・農業・農村に関する各種施策情報の提供や普及 啓発を行っています。3月は、以下のテーマに関する特別展示を行います。 【展示期間】 ○3月10日(月曜日)~3月21日(金曜日)

〈テーマ〉ICT を活用した効率的な鳥獣捕獲とジビエ(野生鳥獣肉)の利活用について 〈展示内容〉最新の鳥獣対策として、ICT 機器の展示や複合電気柵等を展示するほか、ジ ビエ利活用の事例等をパネルで紹介。

○3月24日(月曜日)~4月4日(金曜日)

〈テーマ〉農業・農村の持つ多面的機能や伝統的な農林水産業を営む農業遺産を紹介 〈展示内容〉洪水防止機能や地下水涵養機能、伝統文化の継承等、農業農村の持つ多面的 機能、世界農業遺産・日本農業遺産の制度や国内の認定地域を紹介するパネ ルやパンフレットの展示。また、九州管内の農業遺産認定地域については、 パネルやパンフレットの展示に加え農業遺産に関連した商品を展示。

【展示場所】

- ・熊本地方合同庁舎 A 棟 1 階 消費者の部屋(熊本市西区春日 2 丁目 10 番 1 号)
- ・フードパル熊本「熊本市食品交流会館」(熊本市北区貢町 581-2)

※詳しくは、以下の URL から九州農政局ホームページ「消費者の部屋」をご覧ください http://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/syokunoanzenansin/syouhisya/syouhis ya.html

【2】九州農政局公式 Instagram について

〇 チャレンジチームが魅力ある情報を発信中

九州農政局の公式アカウントです。九州の豊かな農業の魅力や最新情報をお届けしています。是非、「フォロー&いいね」をよろしくお願いします。

※詳しくは、以下の URL、QR コードをご覧ください。

https://www.instagram.com/maff_kyushu/



【3】九州農政局消費・安全部消費生活課 Facebook について

〇 消費生活課が「消費者情報九州」を発信中

消費生活課では、消費者の皆さまに向けた、より分かりやすい情報発信に努めるため、 Facebookページ「消費者情報九州」を開設しています。

当ページでは、農林水産行政に関する情報を始め、食の安心・安全に関する話題提供、 消費生活課が実施している出前講座の様子、イベント開催のお知らせなど、消費者の皆さ まの生活に役立つ様々な情報をお届けしています。

※詳しくは、以下の URL をご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/syokunoanzenansin/syouhisya/syouhisyajouhou.html

【4】編集部からのお知らせ

○ 「九州の食育のひろば」に関する情報提供及び情報更新ご協力のお願い

九州農政局ホームページ「九州の食育のひろば」では、九州各地で開催される食育イベント、親子料理講座、伝統料理講座、農林漁業体験講座、見学可能な食品工場・市場等についてご紹介させていただいていますので、是非、参加風景や感想、今後のイベント情報など、情報のご提供をお待ちしています。

また、「食の体験・食育マップ(全県)」では、ネットワーク「食育アイランド九州」参加者の方々の情報発信を行っていますが、掲載内容について、今後、刷新していく予定です。ご協力のほどよろしくお願いします。「食の体験・食育マップ(全県)」について、ご要望等ございましたら、下記の九州農政局「しまかぜー食育アイランド通信―」の問い合わせ先、または、E-mail s-island-kyushu@maff.go.jp までお知らせいただきますようお願いいたします。

※詳しくは、以下の URL から九州農政局のホームページをご覧ください。 http://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/hiroba/hiroba.html

【編集後記】

春になると日当たりのよい土手などで「つくし」を見かけるようになりました。つくしの 周りをよく見ると「スギナ」を見かけます。

関係を調べてみると、つくしとスギナは地下茎で繋がっている同じ植物 (シダの仲間) で、緑色をしていて光合成を担当する茎が「スギナ」で、胞子を生産して繁殖を担当する茎を「つくし」と呼んでいるそうです(植物学上は両者をスギナと呼ぶ)。

つくしはその後どうなるかと言うと夏には枯れ、スギナは晩秋に枯れてしまいます。冬は 地上では見えませんが、地下茎だけが生きています。おもしろい生態の植物なのですね。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇九州農政局「しまかぜ – 食育アイランド通信 – 」の問合せ先

窓口・問合せ先:九州農政局消費・安全部消費生活課

住所:熊本市西区春日2丁目10番1号(熊本地方合同庁舎A棟)

電話:096-300-6354

※情報の提供、配信先の変更・配信停止などは、以下の E-mail アドレスまでお知らせください。

E-mail s-island-kyushu@maff.go.jp